

医療百話

湘南藤沢徳洲会病院
機能的神経疾患センター センター長
山本 一徹



「ふるえやこわばりを手術で治療」

からだの一部または全体がふるえたり、こわばったり、ねじれたり、意思に反して動く不随意運動と言われる症状や、なかなか良くならない慢性的な痛みなど、神経系の異常が原因となって機能的異常を起こす病気をまとめて、機能的神経疾患と呼びます。パーキンソン病や本態性振戦、ジストニアといった運動性疾患や、難治性疼痛、痙縮といった様々な診断名が含まれますが、これらに対し、手術を行う専門領域を「機能神経外科」と呼びます。

私は、2022年6月までカナダのトロントで機能神経外科の手術・診療を行い、日本でこの領域の治療を専門的に行うべく、帰国後、同8月に機能的神経疾患センターを開致しました。

機能的神経疾患は、ほとんどの場合、飲み薬で治療を開始するのが基本です。しかし、内科的治療のみでは効果が不十分であったり、副作用で薬を継続できなかったり、病気が進行して症状を抑えられなくなったりすることも多く、手術が治療選択肢となります。手術法は様々ですが、神経系の異常な働きを整えるため、脳に電極を入れて刺激する脳深部刺激、入れた電極の先端から発する熱で小さく凝固を行う高周波熱凝固術、メスを使わず約1,000本の超音波で脳を小さく凝固する集束超音波、脊髄の近くに電極を入れて刺激する脊髄刺激、脊髄髄腔内に管を入れて突っ張りをやわらげるバクロフェンを持続注入する髄腔内バクロフェンといった治療が存在します。

機能的神経疾患や機能神経外科は、国内ではまだまだ

十分知られているとは言えません。それゆえ、手術で改善可能なことを知らずに、日々症状に苦しんでいる方が、たくさんいらっしゃいます。また、受診医療機関によっては、正しい診断がなされない、「心の問題」と言われてしまうといったことも珍しくありません。当センター開設の目的は、そのような方々に、病気について知っていただき、可能な限り多くの方の症状および生活の質改善のお手伝いを行うことです。お困りの方やそのご家族、心当たりのある方は、遠慮なく受診の上、ご相談ください。

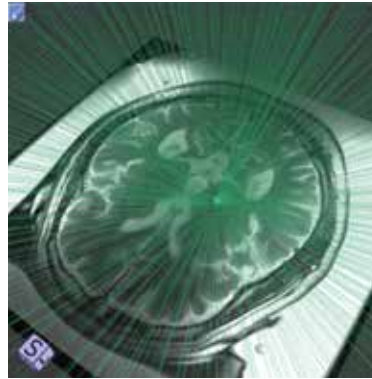


写真1. 集束超音波治療では、約1,000本の超音波（緑色で示してある）が一点に集束し患部を熱凝固する。

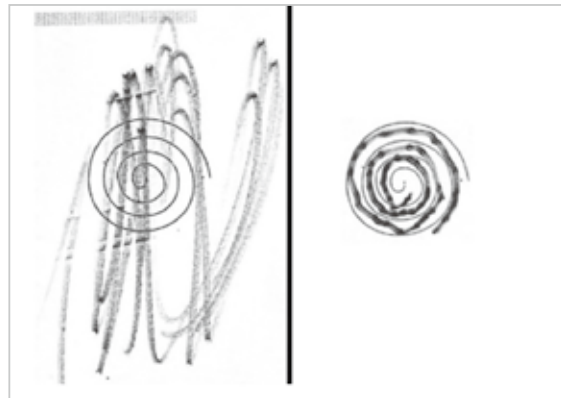


写真2. 本態性振戦に対する集束超音波の一例。
左：治療前はふるえが激しくペンを紙にあてることすら困難
右：綺麗にらせんを描けるようになった

令和4年度下期分 法人会費口座振替のお知らせ

区分	資本金	月額
正会員	300万円以下	800円
	1,000万円以下	1,300円
	3,000万円以下	1,800円
	5,000万円以下	2,400円
	5,000万円超	3,000円
	特別会員(同一代表者及びこれに準ずる代表者の法人)	100円
賛助会員	法人会活動に賛同される個人又は個人事業者	500円

□口座振替契約の皆さまへ

令和4年度下期(令和4年10月1日～令和5年3月31日)の会費をご指定の口座から振替させていただきますので、振替日に不足が生じないようご協力をお願いいたします。

また、平成28年度上期より郵送によるお知らせは省略し、本誌でのご案内とさせていただきます。

尚、領収証につきましては、通帳などの摘要欄の引き落とし表示に代えさせていただきます。

※領収証が必要な場合、事務局までご連絡ください。

■引落日: 令和4年11月15日

□口座振替契約をされていない皆さまへ

12月上旬に振込用紙を郵送いたします。法人会費の納入は口座振替が便利です!ご協力ください。

お問い合わせは(公社)藤沢法人会 事務局・0466-22-6444